
I Love YOU

肥後

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

I Love YOU

【コード】

N2352B

【作者名】

肥後

【あらすじ】

ある日、電車の中で2人は会うが、まったく知らないため、話せない、しかし・・・

1、僕と彼女の出会い（前書き）

真剣に恋愛について、書いていきたいと思うので、評価やダメだし、よろしく願います。

1、僕と彼女の出会い

ある日の朝・・・

電車の中で初めて、彼女と出会った・・・

電車の中は、通勤時間だったが、その日は混雑していなかった。

僕の名前は、田中 俊也（高2）

僕は、耳にイヤホンをつけ音楽を聞いていた。

彼女は、目の前に座って本を読んでいた。

何も接点もないこの二人・・・

急に電車がブレーキをかけた。

トンネルの中だったため、よく分からなかった。

電車の中は、ざわつき始めた。

車内放送で、

「申し訳ありません、ただ今、路上に人が倒れているので、もうしばらくお待ちください。」

と、放送があった。

これには、車内にいる全ての人がざわついた。

しかし、彼女は静かに本を読んでいた。

彼女は、少し怯^{おび}えている感じだった。

そこで、僕は彼女の隣の席に移り彼女と話す決意をした。

僕は彼女に、

「大変ですね。」

と、話し掛けると。

「あつ、はい。そうですね。」

と、驚きながら答えた。

僕は、自己紹介をした。

「東京高校2年、田中 俊也」

すると彼女も、

「私は、小石河高校2年、真鍋 歩美です・・・」

彼女は、恥ずかしそうに答えた。

僕は、この可愛らしい声、顔つきに惚れたのだった。

それが最初の出会いだった・・・

ある日の朝・・・

電車の中で初めて、彼と出会った。

電車の中は、通勤時間だったが、その日は混雑していなかった。

私の名前は、真鍋 歩美（2）

私は、座って本を読んでいた。

彼は、目の前に座って耳にイヤホンをつけ音楽を聞いていた。

何も接点もないこの二人・・・

急に電車がブレーキをかけた。

トンネルの中だったため、暗くて不安になった。

電車の中は、ざわつき始めた。

車内放送で、

「申し訳ありません、ただ今、路上に人が倒れているので、もうしばらくお待ちください。」

と、放送があった。

これには、車内にいる全ての人ざわついた。

しかし、彼は顔色一つ変えず、こっちをずっと見ていた。（私は、事故と彼のせいでビククリした。）

そして彼は、私の隣の席に座ったのだ。

そして彼は私に、

「大変ですね。」

と、話し掛けてきた。

ビックリして、あやふやな返事しかできなかった。

「あつ、はい。そうですね。」

と、答えた。

彼は、急に自己紹介をしてきた。

「東京高校2年、田中 俊也」

少し、恥ずかしかった。

「私は、小石河高校2年、真鍋 歩美です・・・」

と、私は答えた。

私は、心配をしてくれた彼に疑問をもった。

（何故、私に話し掛けてきたの？）

それが最初の出会いだった・・・

1、僕と彼女の出会い（後書き）

無いとは思いますが、こんな場面に遭遇したら小説通り、チャレン
ジしてくださいね。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2352b/>

I Love YOU

2010年10月9日09時33分発行